

令和4年第2回区議会定例会閉会区長挨拶抜粋
(私立認可保育所に対する補助金の算定額の相違について)

葛飾区内の私立認可保育所に対する補助金の誤支給につきまして、区民の代表である区議会の皆様や、多くの区民の皆様、保育所関係者の皆様には、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。

これまでも本区では、妊娠期から18歳まで切れ目のない子育て施策に取り組んでおりますが、とりわけ0歳から5歳の乳幼児とその保護者に対する施策は大変重要であり、いつでも安心して預けられる体制づくりを進めてきました。各保育所の皆様方におかれましても、保育の質・量両面からの充実に向け最大限取り組んでいただいております。

そこで、この度のパート保育士の雇用に関する誤支給の対応にあたりましては、まずは補助金が人件費としてきちんと活用されているかを把握してまいります。

また、保護者や子ども達はもちろん、各保育所の運営に影響の出ないよう配慮しながら対応を考えてまいります。

そのうえで、今後、さらなる詳細な調査をし、その内容については所管の委員会に逐次報告し、丁寧に議論を重ね実施方針を確定させてまいります。

今後の事務執行にあたりましては、すべての事務の責任あるチェック体制の構築、不適正な事務執行事案の情報共有や研修を通しての事例研究等、組織全体として、適切な事務処理の遂行と再発防止に努めてまいります。